

嘉麻市社協だより

# えがお

No.153

発行日/2018.11.1

指先まで  
こだわるよ!!

## 熊ヶ畑 かかし祭り

今年のテーマは  
運動会♪

社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会

〒820-0205 嘉麻市岩崎1143番地3 稲築住民センター内

TEL 0948-42-0751  
FAX 0948-83-8005

<http://kama.syakyo.com>  
✉ [info@kama.syakyo.com](mailto:info@kama.syakyo.com)

 <https://www.facebook.com/kama.swc>



# 知ろう、語ろう! みんなの活動、地域のニュース!!

## つながる輪 くゆうひが丘 希望の会

ゆうひが丘行政区では、毎月第3火曜日に、希望の会のメンバーが公民館に集まって、おしゃべりや昼食会を楽しんでいます。この集まりは20数年前から始まり、毎回14〜15名が参加されています。

参加者のみなさんが子育てをしている頃は、子ども会やクリスマス会などのイベントを開催し、公民館には100人を超える子どもたちが集まり、とても賑やかだったそうです。その子たちも、今は子どもや孫を持つ世代になり、団地内には空室が増え、一人暮らしの高齢者がほとんどです。

2年前に会長に就任した山原かをるさんは、副会長と一緒に一人暮らしの高齢者宅を訪問する活動もされています。同じ



団地の中に住んでいても、この集まりでしか顔を合わすことがないメンバーもおられるとのこと。おしゃべりを楽しむみなさんの表情は、明るく感じられました。

12月には忘年会を予定しており、その際は、男性も参加し、一段とにぎやかな集まりになるそうです。

## 子どもも大人も一緒に くゆうひが丘 希望の会

10月7日(日)、牛隈小学校で下牛隈行政区の体育祭が開催され、子どもから高齢者まで100人を超える方が参加されました。

同区には、7月から10月にかけて4大行事である祇園祭・盆踊り・敬老会・体育祭があり、オリンピックの年には大運動会が開催されます。体育部を設置し体育委員が、その準備をするそうです。

前日、通過した台風の影響が心配されましたが、当日は、



しのぎやすい一日となり、ペタンクとアジャタ(玉入れ)が行われました。応援席からは「大人も子どもも一緒に参加できていいね」との声や「がんばれ、がんばれ」と大きな声援が聞こえました。

区長の福澤茂樹さんは「以前はソフトボールやソフトバレー、キックベースボールを行っていましたが、高齢化の影響で年々参加者が減っていました。昨年、ペタンクやアジャタを取り入れたところ、子どもから高齢者までたくさん参加してくれるようになりました」と嬉しそうに話されました。

区長の福澤茂樹さんは「以前はソフトボールやソフトバレー、キックベースボールを行っていましたが、高齢化の影響で年々参加者が減っていました。昨年、ペタンクやアジャタを取り入れたところ、子どもから高齢者までたくさん参加してくれるようになりました」と嬉しそうに話されました。



教えてください!!

面白情報・耳より情報  
があれば自薦、他薦は問  
いませので嘉麻市社  
会福祉協議会まで、ご連  
絡ください。

※各地域に取材に伺います。

☎42-0751



鴨生町で毎年10月最初の大安  
に行われている、獅子おろしとい  
う神事におじゃましました。この  
神事は20代から40代の男性が所  
属する鴨生会が中心となつて行  
われています。獅子おろしとは獅  
子に神様を宿す儀式です。神主  
さんが祝詞をあげた後、鴨生会  
による迫力ある獅子舞が奉納さ  
れました。



## 受け継がれる神事

〜鴨生会〜



32年前の獅子舞の様子

め、子ども  
たちにも  
伝えてい  
きたいと  
思います  
と力強く  
話されま  
した。

また、10  
月20日から  
2日間にわ  
たつて、恵比  
寿神社を出  
発した獅子  
舞が、商売  
繁盛を願  
い  
鴨生町にあ  
る約250軒を練り歩くそうです。  
商店街として栄えた鴨生町なら  
ではの行事です。最後は恵比寿  
神社に戻り、神殿入りという儀  
式が行われ幕を閉じます。  
鴨生会会長の井上卓也さん  
は、「地元住民で構成されていた  
鴨生会。人口が減ったこともあ  
り、ほかの行政区の方にも参加  
してもらっています。これからも  
地域に根付いた行事を続けるた



## 実りに感謝

〜碓井小学校米作り〜

碓井小学校横の田んぼ  
には、6月に5年生が植  
えた稲が黄金色の穂を実  
らせていました。台風が過  
ぎ去つた10月9日、待ち  
に待った稲刈りをする  
聞き、おじゃましました。

毎年、子どもたちの米  
作りを指導している坂田  
雅量さんは、今年も種ま  
きから5カ月間にわたつ  
て、草刈りや水の調整な  
ど、毎日欠かさず田んぼ  
の管理をされたそうで  
す。子ども達も、登下校中  
に田んぼを眺めながら、  
坂田さんと一緒に自分た



ちが植えた稲の成長を見  
守つてきました。

この日は、初めて手にす  
るノコガマの鋭さに緊張  
した様子でしたが、小さ  
な手で稲をつかみ、慌て  
ずゆつくり器用に根元か  
ら刈り取り、稲の向きを  
揃えながら、みんなで協  
力してコンバインまで運び  
ました。

手間暇かけて米を育て  
る貴重な経験をした子ど  
もたちは、米ができるまで  
の大変さや生産に携わつ  
てくれる方々の苦労を実  
感したようです。



【お詫びと訂正】前号(152号)で記載した西郷子ども奉納相撲大会の中で、「高瀬館」という表記は、正しくは「高瀬宮」です。お詫びして訂正いたします。



# 安心して暮らせる地域を みんなで作るために…

～地域福祉部はこんな役割を担っています～

ご近所さんの様子が気になったら、ちょっと声をかけてみる、こうしたつながりが安心して暮らせるまちづくりには必要です。そのため、地域福祉部の活動をつうじて、お互いに支え合える地域づくりに取り組んでみませんか？

## 地域福祉部とは？

福祉に関する課題には、行政などのサービスによって解決できるものと、自分たちの力で解決しなければならないものがあります。しかし、一人の力で解決できるものではなく、地域の力が重要となってきます。

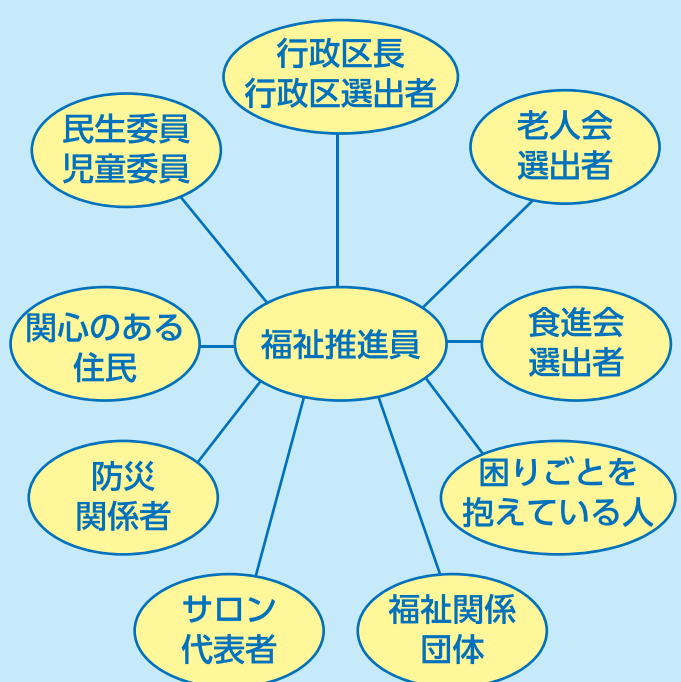
地域には、子ども会や老人会、女性部などがありますが、福祉に関する課題について考える組織はありません。そのため、本会では、地域のいろいろな人たちが同じ立場で地域の課題を考え、解決に向けて活動する地域福祉部の設置を推進しています。

## 福祉推進員の役割

福祉推進員には、地域のアンテナ役として、その地域に住んでいるからこそ分かる「個人の困りごと」や「地域の困りごと」を捉え、地域福祉部で話し合う調整役を担ったり、社協への連絡調整を担う役割があります。

平成30年10月現在、市内18行政区に設置されており、定期的な調整会議の開催や一人暮らしの方への見守り活動、手作り弁当を届けたり、男性料理教室の開催、世代間交流事業やサロンの運営など、地域ならではの顔が見える関係づくりが行われています。

## 地域福祉部



## 地域福祉部の活動例

〈個別課題〉

(例)外に出ることがおっくうになり、家に閉じこもってばかりいる一人暮らしのAさん

〈地域での取り組み〉

- ・Aさんに外出する場を提供する。
- ・Aさん宅を定期的に訪問して見守る。
- ・Aさんと同じ状況にある人がいないか思いをめぐらしてみる。
- ・サロンへの参加を呼びかける。



# 今月のえがお

最近笑顔になった出来事を教えてください



いのうえ しゅんや  
井上 俊哉 くん (左)

毎月1回、稲築西小学校の児童会と稲築中学校の生徒会合同であいさつ運動をしています。あいさつをすると、恥ずかしいのか下を向いて通り過ぎる子もいるのですが、元気な声で返してくれた時は嬉しくて笑顔になります。

まつまえ しせい  
松前 志星 くん (右)

外に出かけた時、お母さんに抱っこされた生まれたばかりの赤ちゃんを見かけました。全然知らないぼくを見ながら、ニコッと笑ってくれたのが嬉しかったです。



かねざき かんじ  
金崎 寛治 さん

熊ヶ畑かかし祭りを見に来てくださったみなさんにえがおになってもらいたいです。

指先までこだわって作ったかかしたちをぜひ見に来てください。



## 今月のブログ

本会では、日々の活動を紹介したり、いろいろな福祉情報を素早くお届けしたいという思いから、ホームページで、日記『嘉麻市社協のブログ』を書いています。そこから抜粋してきた記事をご紹介します。

<http://kamasyakyo.sakura.ne.jp/wp/>

### ふれあい・いきいきサロン「グーの会」

2018年9月19日(水)

「ふれあい・いきいきサロン『グーの会』で牛乳パックを使って椅子を作るよ」と教えてもらい、具島公民館におじゃましました。

発泡スチロールを切って、牛乳パックに詰めたものを12パック準備し糊付けして乾燥させます。次回のサロンで、布を張り付けて完成するそうです。公民館には、以前作った椅子が置いてあり、みなさんが利用されていました。

午後からは、6月にサロンで作成したマインドマップを見てもらいながら中益行政区具島のことを教えてもらいました。また、西日本豪雨を振り返り、小学校や家族のところに避難したことや具島公民館が床下浸水したことを聞きました。参加した方から、「今



バックの中に懐中電灯や予備の電池、飴やお菓子、ペットボトルの水、携帯の充電器をいつも持ち歩いているよ」と、教えてもらいました。「全国的に台風や地震や大雨などの災害がいつどこであるか分からないので、日頃から備えるのが大事だね」と、みなさん話されていました。

最後に、メンバーから市バスに乗ったことがないので、市バスを使って嘉穂校区をまわりたいとの意見があり、来年度は、市バスを利用したお出掛けを企画することになりました。





# かまボランティア・市民活動センター情報



## 街頭募金ボランティア

「たくさんの方々が募金した」

10月1日から、赤い羽根共同募金運動がスタートしました。台風25号接近のため2日間は中止しましたが、10月1日(月)、7日(日)に、市内のスーパーや道の駅などで街頭募金活動を行いました。

今年も、各地区の民生委員児童委員さんや稲築地区福祉推進員さん、稲築中学校の生徒のみなさん、かまボランティア・市民活動センターに登録しているボランティアさんなど延べ84名の方に協力してもらいました。

爽やかな秋風が吹く中、たくさんの方が立ち止まり、「今年も募金します」「みなさんの呼びかけを聞いて募金しました」と、温かい言葉をかけてもらいました。



ボランティアに参加した方は、「初めは緊張しましたが、大きな声を出していくうちにほぐれていきました。思ったよりも多くの方が募金してくれて、嬉しかったです」「募金額の小ではなく、募金をするという気持ちが大切だと思いました」と、話されました。

この街頭募金は、毎年多くのボランティアの協力のもとに開催しています。今年も、ありがとうございました。

## イベント情報

### 平成30年度 第22回 福岡県立嘉穂特別支援学校「アート展」

「アート展」は、制作や展示等の体験活動を通して、自分のもてる力を発揮し、興味や意欲をもってよりよく生きる力を養うことを目的としています。また、学習活動の成果を地域に発表することにより、本校の教育理念や児童生徒に対する理解・啓発を図ります。ぜひご覧ください。

**日時** 11月21日(水)～11月28日(水)  
午前9:00～午後9:00(最終日は午後3:00まで)

**場所** イオン株式会社 穂波店 1階ふれあい広場  
(飯塚市枝国長浦666番地48 TEL0948-26-1717)

**出品作品** 小学部～中学部までの児童生徒の作品  
貼り絵、砂絵、水彩画、粘土細工、版画、押し花、スタンドグラス、スクラッチ、フロッタージュ、制作うちわ、リース、スタンドライト、キャンドルポットなど

**お問い合わせ** 福岡県立嘉穂特別支援学校(担当:和田)  
TEL:0948-42-1511 FAX:0948-42-4508

## ボランティア募集情報

### 水泳ボランティア

ふぁん・ファン・funでは、小学生を中心とした障がいをもつ子ども達と一緒に、水中でレクリエーションの補助をしていただける方を下記のとおり募集しています。

**日時** 11月17日(土) 10:35～12:00

**場所** 山田サルビアパーク  
(嘉麻市上山田352)

**内容** 水中レクリエーションの補助

**期限** 11月12日(月)まで

**備考** 水着、タオル、水泳帽子をご用意ください。  
活動後は軽食を準備します。

**お問い合わせ**  
かまボランティア・市民活動センター  
0948-42-0751





## 認知症の人が スツと落ち着く言葉かけ

著者 右馬埜節子うまのせつこ  
発行 講談社



本会では、認知症家族の集い「こころ音の会」を月1回開催しています。その会の中で、認知症の人と話すときに、どう対応していいか分からなくなるという声を聞きます。何かいい本はないだろうかと探していると、タイトルが目にとまり、読んでみました。

この本には、1993年から認知症専門の相談員として介護の仕事に携わっている著者が、今までに対応した200を超える相談

の中で経験した、認知症の人に落ち着いてもらえる言葉のかけ方・接し方が書かれています。

その中には、たくさんの記憶を知識や体験として自分の中に積み上げていける「足し算の世界」と、新しい記憶から失われていく「引き算の世界」が表現されています。

新しい記憶は薄れても、過去の仕事で経験したことや趣味で覚えたことは残り、日常生活の中で突然思いがけない行動をされることがあります。その行動はその人が今までに生きてきた過程を表していると理解し、介護者がその世界と一緒に生き、歩み寄った対応をすることとで心を落ち着かせることにつながるかと書かれています。

認知症の方に合わせて言葉かけを行うことや穏やかな口調でゆつくり話したり、ひとことふたことでわかりやすく伝えることが重要だと思いました。

(ふじい)

## 炭 鉱 の 記 憶

山野にお住まいの西原正俊にしはらまさとしさんに、話を伺いました。

西原さんは、昭和14年から昭和57年まで開墾された麻生塾工業高校に24期生として入塾し、炭鉱のことを勉強されたそうです。夏休みには上三緒炭坑や吉隈炭坑に実習に行き、実際に石炭の掘り起こしを体験されました。

当時は機械掘削方式で石炭を掘っており、炭層に沿って掘るドラムカッター、側面から掻き出すように掘るコールホールベル、掘削した石炭を運ぶチェーンコンベア等



ドラムカッターで掘った石炭をチェーンコンベアで運ぶ様子

の機械を操縦されたそうです。ドラムカッターやコールホールベルで掘った石炭を、その下に設置されたコンベアで運ぶという流れで作業が行われます。石炭を掘るための機械は大きさや形状が様々あり、炭層の厚さによって使う機械が変わります。

作業員の方はみんな優しく、機械の操作や石炭の見分け方だけでなく、戦時中のことや坑内でのエピソードなども教えてくれ、昔のことを知る良い機会になったと話されました。

高校卒業後は、閉山が近かったこともあり、炭鉱の現場には就職しなかったものの、その後も勉強を続けられています。当時の経験を交えながら、たくさんの資料をもとに詳しく説明してくださいました。



## 12月の総合相談

### 法律相談

と き：12月6日(木) 13:00～16:00

ところ：山田ふれあいハウス

※法律相談は予約が必要です。先着順となっておりますので、お早目にお申し込みください。



### 心配ごと相談

と き：12月12日(水) 13:00～15:00

と き：12月26日(水) 13:00～15:00

※心配ごと相談の会場はいずれも稲築住民センターです。

## 山田ふれあいハウス からのお知らせ

### 【会議室利用のご案内】

山田ふれあいハウスは、無料で使用できるホールの他、最大30名が利用できる会議室を備えています。趣味のサークルや地域の団体の活動の場として、ぜひご活用ください。

なお、会議室の使用は事前に申し込みが必要となりますので、ご連絡をお願い致します。

#### ●会議室使用料金

……………1時間あたり 250円

#### ●冷暖房使用料金

……………1時間あたり 450円

連絡・問い合わせ先／山田ふれあいハウス

嘉麻市上山田502番地6 TEL 0948-52-1847

## 成年後見 Q&A

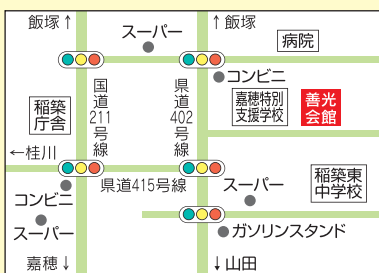
Q

成年後見人等であることを証明するための「登記事項証明書」が必要な場合、どこに請求すればよいのですか？

A

最寄りの法務局が請求先となっています。禁治産・準禁治産制度の時代には、本人の戸籍上にその旨が記載されていたので、市町村役場が請求先でしたが、成年後見登記制度の創設に伴い、平成17年1月から、最寄りの法務局が請求先となりました。

皆さん、こんにちは。善光会館です。善光会館では、将来のご葬儀をより有意義に、安心して行っていたただけるように、互助会制度を備えています。また、遺族を中心に親しい人だけで行う家族葬についてのご相談も受け付けております。事前見学も可能ですので、設備の充実した当会館をぜひ、ご自身で確かめください。



嘉麻市鴨生277-12  
☎ (0948) 83-5000

指定葬祭場紹介  
善光会館 稲築会場

嘉麻市社会福祉協議会指定葬祭場は、善光会館 稲築会場を含め、市内に7ヶ所あります。

おかむら葬祭岡村会館……………	☎42-4420	いすや会館……………	☎57-4444
飛鳥会館 南斎場……………	☎42-4241	セレモニーホールおおつか……………	☎52-1212
きど葬祭やまさ碓井斎場……………	☎62-4499	かほ葬祭 あじさい会館……………	☎62-5566



みなさまの善意、心より厚く、  
お礼申し上げます。

香典返し・寄附

9月1日～9月30日受付分

◆香典返し

【山野第二】

親族 藤 春 眞 祐 様  
故 藤 春 敏 子 様  
親族 辻 田 房 子 様  
故 辻 田 正 治 様

【漆生東】

親族 手 島 恵 美 様  
故 手 島 豊 様

【枝坂】

親族 能 登 原 尚 代 様  
故 能 登 原 庸 様

【原町】

親族 添 谷 ツユ子 様  
故 添 谷 房 利 様

【中山田上】

親族 井 手 政 義 様  
故 井 手 久 子 様

【中益】

親族 原 中 江 美 子 様  
故 原 中 秀 行 様

【桑野】

親族 有 江 香 代 様  
故 有 江 範 寧 様

親族 故 江 藤 吉 明 様

◆一般寄附

【市外】

嘉穂の名水愛好者一同 様

◆物品寄附

【子育てリユース】

漆生本村 匿 名 様  
口春 武田 敏久 様  
山野第二 横山貴代美 様  
上白井下 木本 望 様  
上牛隈 久保 紀子 様  
下牛隈 吉岡 知子 様  
三日町 石井美由紀 様  
飯塚市 匿 名 様

【アルミ缶】

漆生中央 田中茶舗 様  
漆生南部 岩田 勇治 様  
漆生南部 西田 幸子 様  
西岩崎 山倉 正志 様  
鴨生第一 渡辺 勝美 様  
漆生東 匿 名 様  
錢代坊 匿 名 様  
天神 愚童の庵 様  
中央 稲葉 幸作 様  
上牛隈 秋竹 伸宏 様  
上牛隈 井坂 智子 様  
上町 廣川恵理子 様

【リングプル】

石ヶ崎シニアクラブ 楠 様  
鴨生第一行政区 鴨生 様  
鴨生第二ふれあい いきいきサロン 様

漆生本村 匿 名 様

漆生中央 松田 茂 様

山野第二 古賀 絹江 様

鴨生第一 國武美千代 様

下宮 三好 邦央 様

木城 樋口えり子 様

石ヶ崎シニアクラブ 楠 様

長円寺仏教婦人会 様

大橋行政区婦人会 様

鴨生第二ふれあい 様

いきいきサロン 様

福岡レイクサイド 様

カントリークラブ 様

在宅介護者の集いこころ 様

嘉穂手話の会 様

【古切手】

漆生中央 松田 茂 様

平東 匿 名 様

神幸 松岡ツヤ子 様

在宅介護者の集いこころ 様

教育ナビゲーション(株) 様

嘉麻市福祉事務所 様

保護課庶務係 様

【将棋盤・碁盤】

上牛隈 中島 恭子 様

あなたの会費が、  
社協の地域活動を  
支えています

会員として、次の方々に

ご加入いただきました。

(敬称を省略させていただきます。)

(順不同で掲載しています。)

9月1日～9月30日受付分

〈漆生中央〉松田茂(三口)、

漆生中央七組(二口)

〈鴨生第一〉添田初代

〈平東〉平川勝利、岩井モリ

子、佐伯照雄、梶原信義、柴

田迪一、三木泰信、石川芳太

郎、小坪敏子、入江加寿美、

松隈安子、矢羽田正人、山口

美香子、梶正司、内野ヒサヨ、

中嶋シヅ子、縄田進、佐藤侃

恵、小淵清美、杉原芳子、酒

井ヒロエ、芳野正則、加藤友

二郎、西田鉄也、岩本紀子、

橋本進、橋本和利、篠原千登

勢、松尾正則、下土居幸子、

山之内正人、鬼丸好輝、梶原

清、佐藤正、高橋正吉、柴田

義美、櫻井龍子、横谷富士  
江、後藤謙一、鷺山誠、中野智  
子、島田照夫、梅野春夫、佐  
野圭志、西まゆみ、林田政  
光、藤田義輝、瀬戸山淳、飯  
田和代、宇野泰司、堤勝、野  
口清司、山本重勝、末武勲、  
角谷恵子、田中弘光、久保田  
範子、服部光孝

〈ゆうひが丘〉松岡康則、ゆ  
うひが丘行政区(二十口)

〈中山田上〉赤間秀人

〈中山田下〉植木チエ子、嶋田  
伸之

〈下牛隈〉秋吉裕子、藤川隆  
俊



ふるさとへの  
手紙  
No.153



東京都文京区在住  
いいだ やすはる  
飯田 康治さん  
旧嘉穂町牛隈出身



恩師とわたしの人生

私は山田高校二年生の時、久恒炭鉱の閉山により一家で埼玉県浦和市に転居しました。以来、57年ふるさと嘉穂のことは片時も忘れることはありません。

特に小・中学校の恩師には生涯の成長過程に大きな影響を受けました。

久恒の自宅に在る頃は、今は亡き母と一緒に近くの畑で大根、白菜、さつまいも、キャベツ等々を作り収穫したものです。雨上がりの朝には、畑の周辺に出かけ、アミタケや栗タケ、ハツタケ等のキノコを採取しました。

笑い話になりますが、学校の帰りに教科書やノートを机にしまい込んで空のカバンをしまい、皆で柿を無断でいただきこっぴどくしかられました。泣いたり笑ったりを何度もくりかえしたものです。

嘉穂の大隈といえば、やつぱり黒田武士を挙げない訳にはいかないでしょう。小学校四年生の頃、黒田城での正月の挨拶で、先生が話してくれた「飲め」、「飲まぬ」日本号の槍のエピソードがおもしろく聞き入ったことを思い出します。そのせいかわかりませんが、嘉穂の人は自分も含め声が大きくて酒が強い人が多い様に思います。

私は、大学卒業後に国会で秘書を20年間、その後地方議員を20年勤め政治生活46年を経て今日に至ります。まさかこんな人生を経験する事など思いも寄りませんでした。

ふりかえると、恩師の先生方に丁寧な教育をして頂いた賜物と今感謝の日々です。心よりお礼を申し上げたいと思います。ふるさとへの全てにありがとう。

編集後記



(おがわ)

子ども達は米作りを通して、生産者の苦労や喜びを体験しました。食卓にならぶ白いご飯を食べ、米を作る人や運ぶ人、売人や調理する人への感謝の気持ちを感じてくれたら嬉しいです。



(ふじい)

今月の一冊で紹介した本には、たくさんの事例がマンガやイラストでわかりやすく書かれています。認知症の方の行動や言葉に込められた思いを考えをきっかけになりました。



(いとう)

P5の今月のえがおは、街頭募金のボランティアに参加した稲築中学校の生徒さんを紹介しました。元気いっばいな声に学校の先生も笑顔になりました。



(うちだ)

下午隈行政区体育祭では、一緒に競技する親子や孫を応援する家族がたくさん参加されていました。地域の行事を通じて、顔見知りとなり顔が見える関係づくりにつながると感じました。



(やました)

鴨生町の獅子おろしでは、迫力ある獅子舞取材しました。子ども達のキラキラした表情を見て、将来獅子舞を舞っている姿を想像しました。



(やひろ)

炭鉱の記憶では、西原さんが学生時代に学ばれた、機械の操作方法や役割、作業の流れを、資料や指導者とのエピソードを交えながらわかりやすく教えてもらいました。

社協だよりクイズ



「広報紙えがお」を読んで、次のクイズにお答えください。正解者の中から抽選で図書券(千円分)、ポストカードセット(4枚組)をそれぞれ1名の方にプレゼントします。

問題

地域のいろいろな人たちが同じ立場で地域の課題を考え、解決に向けて活動する地域福祉部は、平成30年10月現在、市内いくつの行政区で設置されているでしょうか？

(1)15行政区 (2)18行政区 (3)20行政区

●応募方法

①クイズの答え、②広報紙の感想、③郵便番号・住所、④氏名、⑤年齢、⑥電話番号をご記入の上、11月30日(必着)までにハガキ、またはEメールにてご応募ください。

●送付先 〒820-0205

嘉麻市岩崎1143番地3 嘉麻市社会福祉協議会

E-mail: tiiki@kama.syakyo.com

●前号のクイズの答え

(3) 買い物

協議体「なつきちゃんにし」では、5~10年後、車の免許を返納したら、買い物に困ることが想像できるとの声があがっています。

●応募のあった方から社協だよりの感想をいただきましたので、紹介します。

・協議体「なつきちゃんにし」…日常生活を支えるために積極的に活動されていて頼もしい限りです。

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。